

暖水波及の影響により「高め基調」で推移  
(平成26年11月の海況と今後の予測)

平成26年11月11日  
茨城県水産試験場

1. 本県周辺海域の概況(図1, 11/10現在)

- ・黒潮の流型は、D型で推移しています。黒潮の本流は、犬吠埼に接岸した状態で本県沖合を東北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39° 30′ 東経146° 00′ 付近(岩手県はるか沖)にあります。親潮の面積は平年並となっています。また、東北海域の海面水温は平年並～平年よりやや高めで推移しています(気象庁10/31発表)。
- ・本県沖において黒潮からの暖水波及の影響が強くみられています。

2. 海洋観測結果(11/4～5:調査船「いばらき丸」)

- ・荒天により、大洗・鹿島定線141° 45′ E定点が欠測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・大洗定線の鉛直水温図(前月差)を図14～15に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(平年偏差)を図16～17に示しました。
- ・海面水温は、会瀬沖で21.7℃～23.3℃, 大洗沖で19.9～23.3℃, 鹿島沖で21.1～22.6℃, 犬吠埼沖で21.3℃～22.7℃でした(①, 図2)。
- ・前月と比べると、表層では前月並～やや上昇, 50m～200m深では前月より大幅に上昇しました(②)。
- ・平年と比べると、犬吠埼沖を除き、茨城県沖全域の表層～200m深で高め基調となっています。犬吠埼沖では、沿岸域が平年並, 沖合域で低め基調となりました(③)。
- ・潮流の特徴として、会瀬～鹿島定線の沖合域で黒潮の強い流れが観測されました。また、暖水波及の影響で会瀬・大洗定線で真潮(0.5～1.5ノット)が観測されました。

3. 今後1か月の見通し

- ・黒潮流型は期間後半にN型に推移するとみられ、犬吠埼沖を北東に流去する状況となるでしょう。
- ・親潮の面積は平年並か平年より小さめで推移する見通しで、親潮第一分枝の先端は北緯42° 00′ 東経145° 30′ (襟裳岬沖)に停滞するとみられ、親潮系冷水は本県沖に直接影響しないとみられます。
- ・水温を平年と比べると、強い暖水波及の影響が残り、茨城県沿岸・沖合とも広い範囲・広い層で「高め基調」で推移するでしょう。

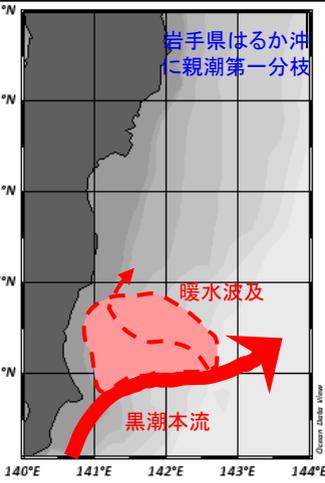


図1 海況の概要  
(11月10日現在)

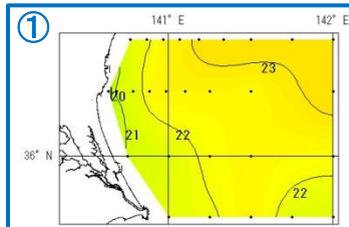


図2 海面水温(°C)

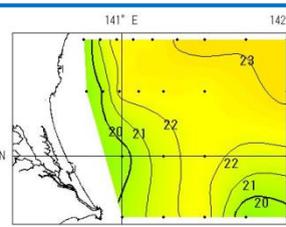


図3 50m深水温(°C)

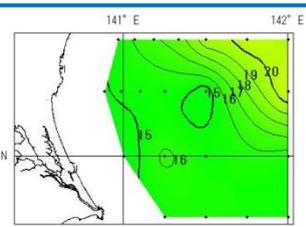


図4 100m深水温(°C)

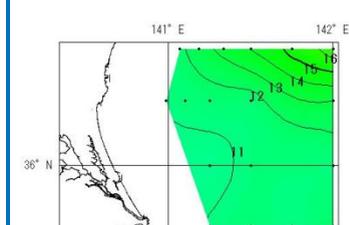


図5 200m深水温(°C)



図6 海面水温前月差(°C)

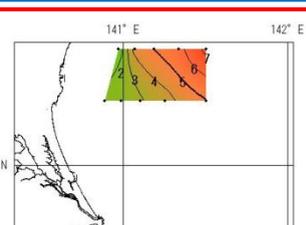


図7 100m深水温前月差(°C)

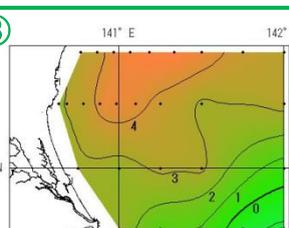


図8 海面水温平年偏差(°C)

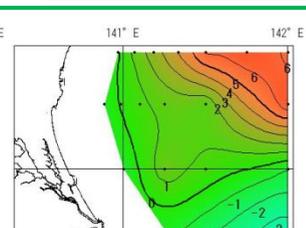


図9 100m深水温平年偏差(°C)

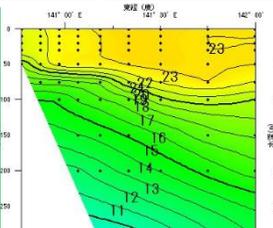


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

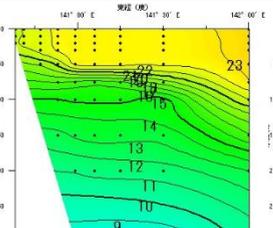


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

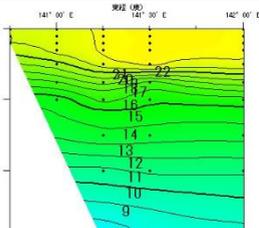


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

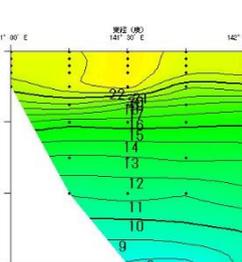


図13 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

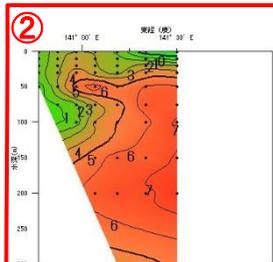


図14 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

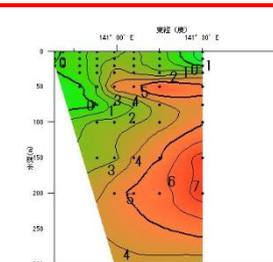


図15 大洗沖鉛直水温前月差(°C)

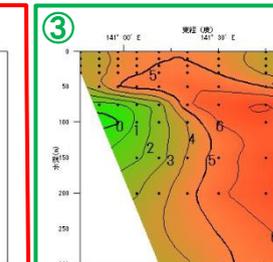


図16 会瀬沖鉛直水温平年偏差(°C)

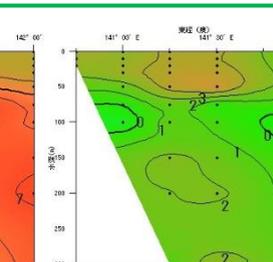


図17 鹿島沖鉛直水温平年偏差(°C)